

めいしん めいはん れんらく どう ろ
名神名阪連絡道路
有識者委員会(第2回)

令和6年11月20日(水)

滋賀県 道路整備課・三重県 道路企画課

1.	第1回意見聴取の結果	・ ・ ・	2
1-1.	第1回意見聴取概要		
1-2.	調査票による意見聴取結果		
1-3.	関係団体への意見聴取結果		
1-4.	第1回意見聴取結果まとめ		
2.	早期の効果発現に向けた提案	・ ・ ・	20
2-1.	地域特性		
2-2.	対象地域の道路交通状況		
2-3.	高規格道路を取り巻く社会情勢		
3.	今後の進め方（予定）	・ ・ ・	34

1. 第1回意見聴取の結果

1-1. 第1回意見聴取概要(意見聴取期間と実施方法)

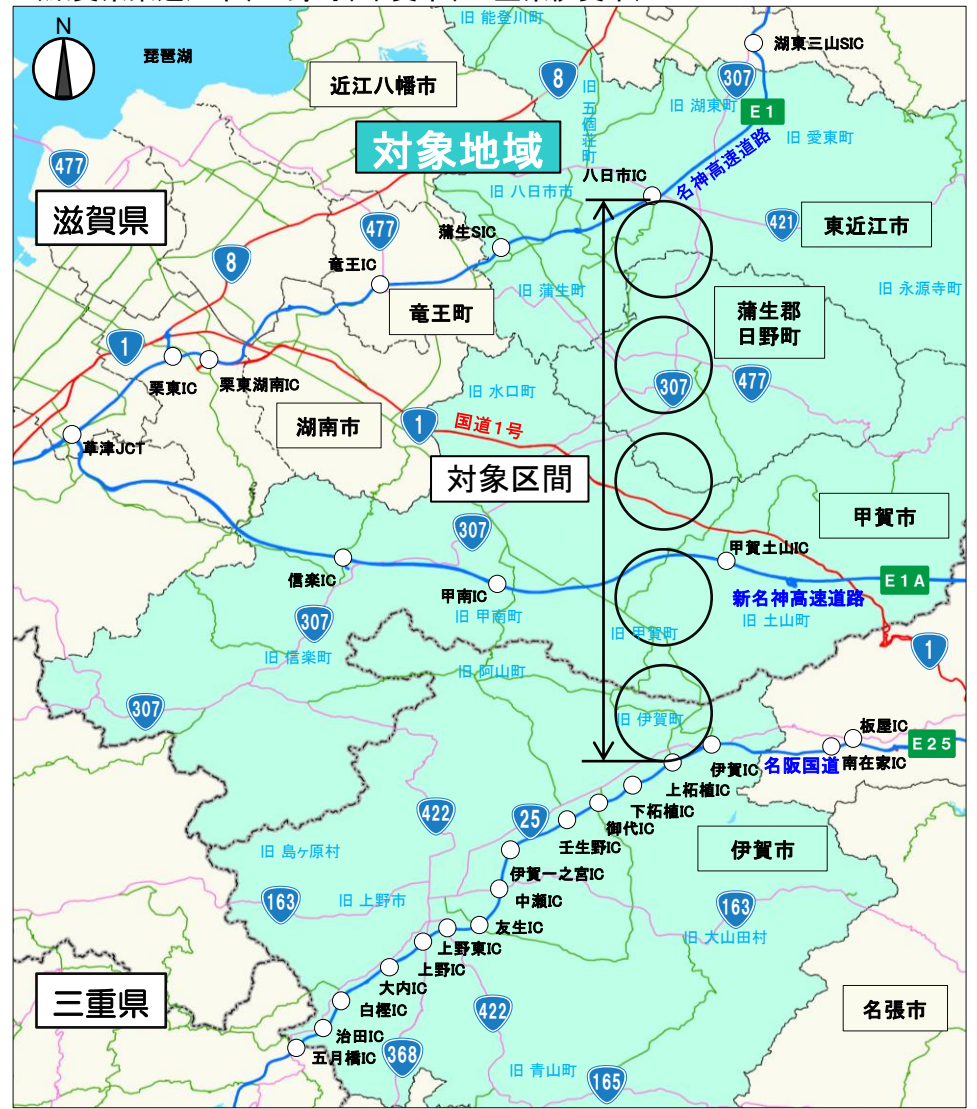
- 第1回意見聴取期間は、令和5年1月12日(木)～令和5年2月19日(日)。
- 地域住民、道路利用者、関係団体、周辺自治体を対象にアンケートを実施。

■ 意見聴取期間
令和5年1月12日(木)～令和5年2月19日(日)

■ 意見聴取の対象と実施方法

意見聴取・照会	対象	実施方法
■ 地域住民・道路利用者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東近江市 ○ 日野町 ○ 甲賀市 ○ 伊賀市 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民説明会 ○ オープンハウス ○ 県HPIによるWEBアンケート ○ 自治体窓口での留置きアンケート
■ 関係団体	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光協会【12団体】 ○ 商工会【10団体】 ○ 農林団体【6団体】 ○ 運送団体【5団体】 ○ 警察機関【5団体】 ○ 消防機関【2団体】 計 40団体 	○ 郵送配布・回収
■ 周辺自治体	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東近江市 ○ 日野町 ○ 甲賀市 ○ 伊賀市 ○ 近江八幡市 ○ 名張市 ○ 湖南市 ○ 竜王町 計 8自治体 	○ 郵送配布・回収

■ 地域住民・道路利用者の意見聴取の対象地域
(滋賀県東近江市、日野町、甲賀市、三重県伊賀市)



1-1. 第1回意見聴取概要(回収数)

- ・調査票による意見聴取の全回収数は2,584部。
- ・関係団体への意見聴取は40団体、周辺自治体への意見照会は8自治体にそれぞれ実施した。

■調査票による意見聴取の回収数

調査形式	回収数			
	配布数	回収数	回収率	計
住民説明会	254部	238部	93.7%	2,584部
オープンハウス	—	1,003部	—	
WEBアンケート	—	798部	—	
自治体窓口での留置きアンケート	—	545部	—	

・意見聴取開催地別回収数 ※いずれも令和5年開催

○住民説明会

開催日	開催地		回収数
1月13日(金)	滋賀県甲賀市	土山開発センター	39
1月16日(月)	滋賀県東近江市	あかね文化ホール大ホール	39
1月26日(木)	滋賀県甲賀市	かふか生涯学習館2階 研修室	47
1月31日(火)	滋賀県東近江市	八日市文芸会館大ホール	22
2月3日(金)	滋賀県日野町	日野町林業センター	39
2月10日(金)	三重県伊賀市	ふるさと会館いが小ホール	52
計			238

土山開発センター(令和5年1月13日)



ふるさと会館いが(令和5年2月10日)

■関係団体への意見聴取の回収数

実施団体	小計	回収数
観光協会	12団体	40団体
商工会	10団体	
農林団体	6団体	
運送団体	5団体	
警察機関	5団体	
消防機関	2団体	

○オープンハウス

開催日	場所		回収数
1月14日(土)	滋賀県日野町	セブン-イレブン 滋賀日野高校前店	45
	滋賀県甲賀市(旧土山町)	道の駅 あいの土山	101
1月18日(水)	滋賀県東近江市(旧愛東町)	道の駅 あいとうマーガレットステーション	57
	滋賀県東近江市(旧八日市市)	黒丸PA	55
1月20日(金)	滋賀県甲賀市(旧土山町)	道の駅 あいの土山	80
	滋賀県日野町	セブン-イレブン 滋賀日野高校前店	40
1月22日(日)	滋賀県甲賀市(旧土山町)	土山SA	188
	三重県伊賀市	道の駅 いが	102
1月30日(月)	三重県伊賀市	道の駅 いが	88
	滋賀県甲賀市(旧土山町)	土山SA	98
2月5日(日)	滋賀県東近江市(旧愛東町)	道の駅 あいとうマーガレットステーション	92
	滋賀県東近江市(旧八日市市)	黒丸PA	57
計			1,003



あいの土山(令和5年1月14日)



■周辺自治体への意見照会の回収数

実施団体	回収数
東近江市	8自治体
日野町	
甲賀市	
伊賀市	
近江八幡市	
名張市	
湖南市	
竜王町	

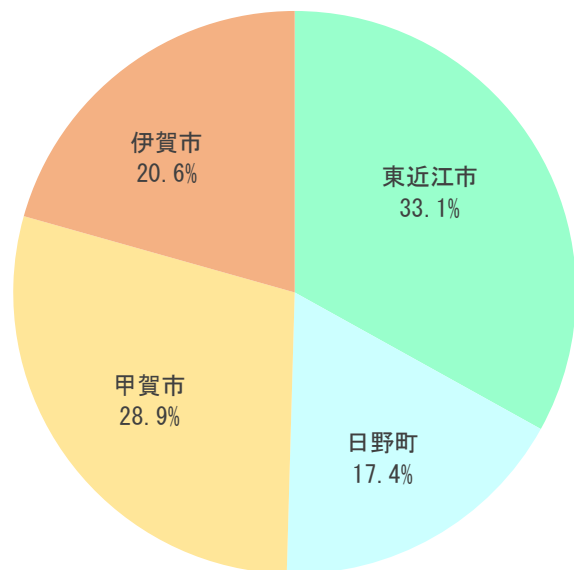
1-2. 調査票による意見聴取結果(回答者属性:居住地)

- 全回答(2,584部)のうち、対象地域住民の回答は1,110部、対象地域住民以外の回答は1,474部。
- 対象地域住民以外の方の居住地は、他府県が36.2%を占めた。

回答者の居住地

対象地域住民 意見聴取
【東近江市・日野町・甲賀市・伊賀市 在住者】

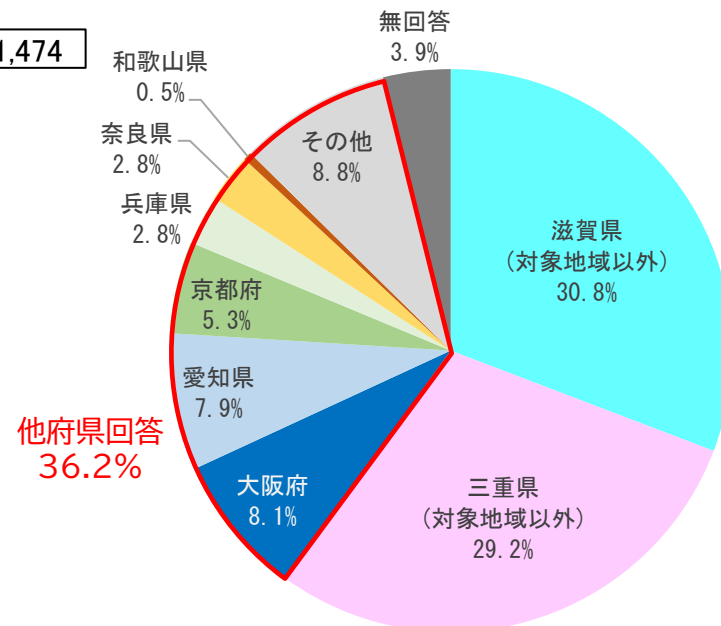
N=1,110



回答数	
東近江市	367
日野町	193
甲賀市	321
伊賀市	229
合計	1,110

対象地域住民以外 意見聴取

N=1,474



回答数			
滋賀県(対象地域以外)	454	兵庫県	42
三重県(対象地域以外)	430	奈良県	41
大阪府	120	和歌山県	7
愛知県	116	その他	129
京都府	78	無回答	57
合計		合計	1,474

1-2. 調査票による意見聴取結果(課題:総数)

- 多くの回答者は名神名阪連絡道路周辺の4つの課題いずれについても実感している。
- 「迂回の課題」、「物流の課題」、「安全の課題」を実感している割合が特に大きい(8割超)。

問2：名神名阪連絡道路周辺の課題について

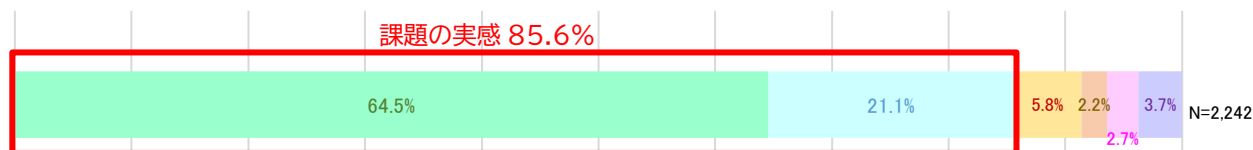
【全体】



迂回の課題

〔A〕名神・新名神・名阪国道のいずれかが事故や災害等で通行止めとなった場合、他の高速道路等へ迂回が難しい

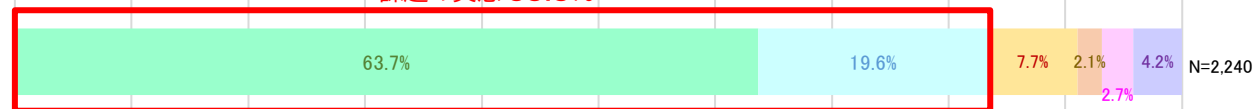
課題の実感 85.6%



物流の課題

〔B〕物流を担う大型車が多く走行しているが、一般道しかない

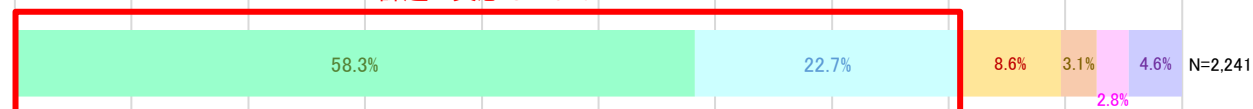
課題の実感 83.3%



安全の課題

〔C〕生活道路に多数の大型車が入り込んで走行しており、危険を感じる

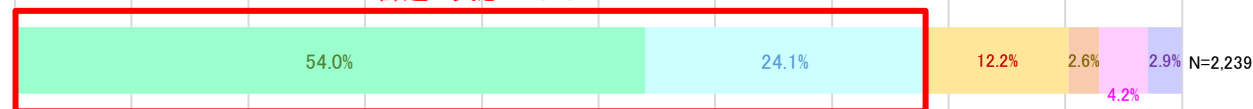
課題の実感 81.0%



観光の課題

〔D〕主要観光地間をスムーズにつなぐ道路がないため、移動に時間がかかっている

課題の実感 78.0%

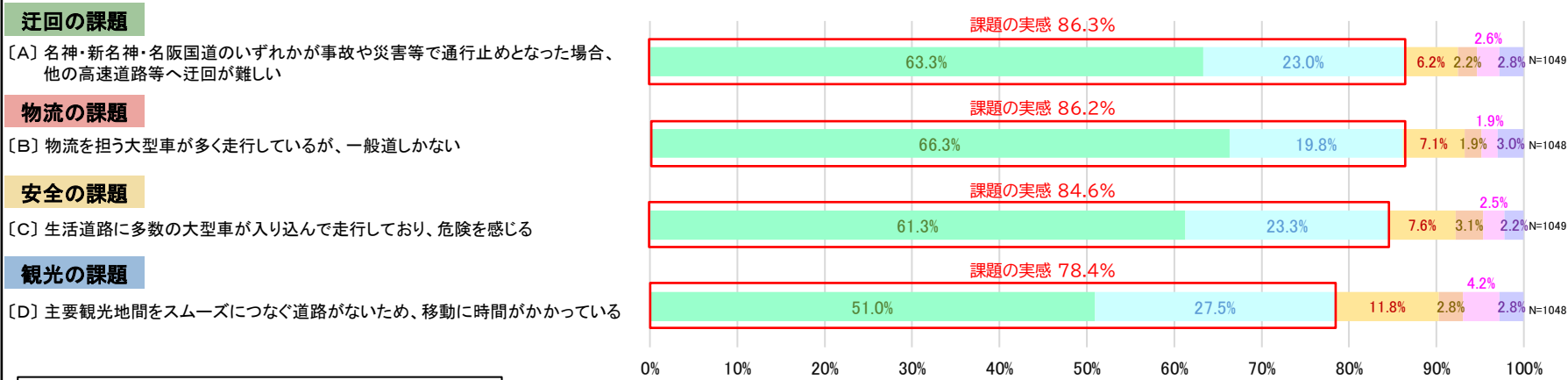


※対象区間を利用していない方・無回答除く

1-2. 調査票による意見聴取結果(課題:対象地域住民)

- 対象地域住民は、「迂回の課題」、「物流の課題」、「安全の課題」を実感している割合が特に大きい(8割超)。
- 自由意見では、大型車が生活道路に流入している等の「安全の課題」に関する意見が特に多い。

問2：名神名阪連絡道路周辺の課題について



対象地域住民
意見聴取
東近江市
日野町
甲賀市
伊賀市
在住者

課題に関する自由意見回答【対象地域住民】

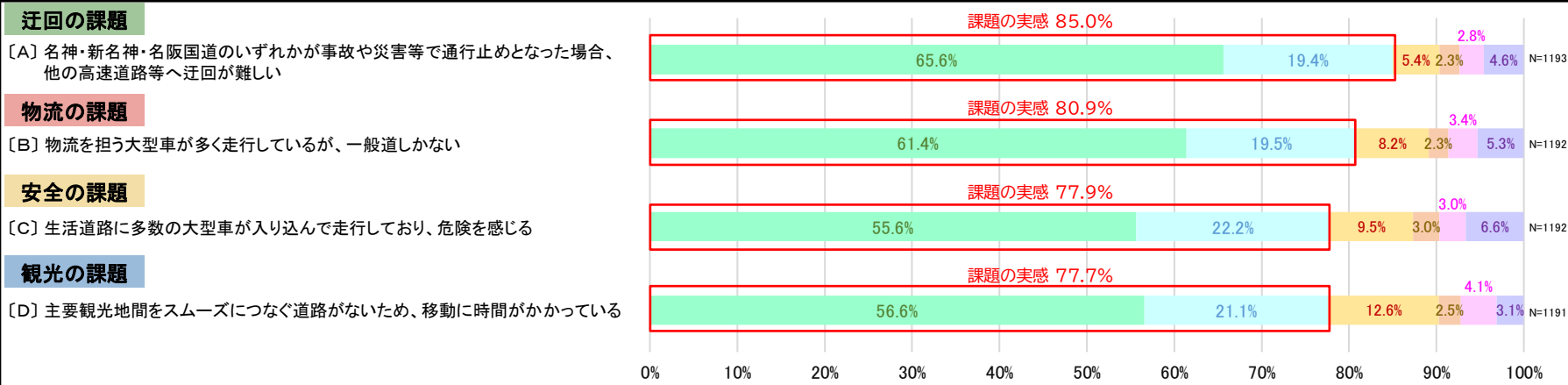
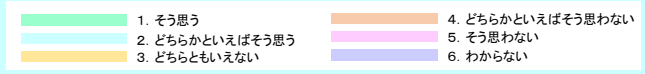
分類	主な自由意見
迂回課題意見 【20件】	<ul style="list-style-type: none"> 雪害や交通事故などで既存の高速道路が通行不能となった場合、迂回が難しく、実際に大渋滞や物流の混乱などが発生しています。 三重県へ向かう道路が狭く、少ない。通りにくだけでなく、どこかの道路が封鎖された時、大きく迂回する必要があります。 伊賀市では名阪国道は、生活道路として欠かすことのできない道路ですが、事故や異常気象による通行止めなどの規制が多くあり、迂回ルートが無いため、行き場が無くなります。
物流課題意見 【5件】	<ul style="list-style-type: none"> 物流の利便性向上を図る上で、滋賀県と三重県の名阪国道のアクセスが悪いです。 当該地域に物流道路としての基幹道路が存在していない。 災害時等の通行止で物流が止まったので改善する必要があると思います。
安全課題意見 【52件】	<ul style="list-style-type: none"> 子供達は大型車がスピードを上げて走る中を、危険と隣合わせで学校に通っており大変危険です。現状、保護者は送迎や見守り、路肩の草刈りまで行い、通学の安全を祈っている状況です。 通学路に大きなトラックが通ることは大変危険に感じます。トラックの騒音や振動が家に響き、大変困っています。 家の前を昼夜問わずトラックが多く走行しており、安全や騒音等による健康への不安が大きいです。
観光課題意見 【3件】	<ul style="list-style-type: none"> 北陸方面へ旅行をする際に、名神高速道路(八日市IC)までを遠く感じることがあります。 観光の利便性向上を図る上で、滋賀県と三重県の名阪国道のアクセスが悪いです。

※対象区間を利用していない方・無回答除く

1-2. 調査票による意見聴取結果(課題:対象地域住民以外)

- 対象地域住民以外は、「迂回の課題」、「物流の課題」を実感している割合が特に大きい(8割超)。
- 自由意見では、災害時に迂回できる道路が不足しているという「迂回の課題」や、大型車の走行に適した道路が不足しているという「物流の課題」に関する意見が多く寄せられた。

問2：名神名阪連絡道路周辺の課題について



課題に関する自由意見回答【対象地域住民以外】

※対象区間を利用していない方・無回答除く

対象地域住民以外意見聴取

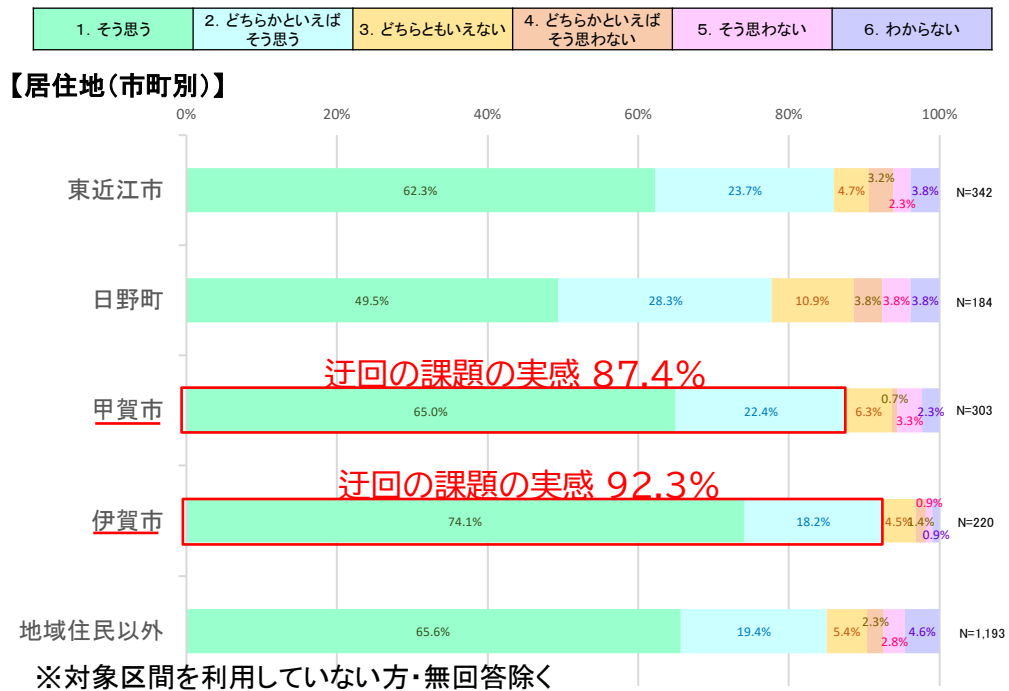
分類	主な自由意見
迂回課題意見【19件】	<ul style="list-style-type: none"> 滋賀県内陸部に工業地域が形成されているが、大雪の時に通行止めが起きやすいなど、現状不便を感じています。 名阪国道の事故が起きた場合、身動きが取れなくなるので迂回できる道路が必要です。 当該区間の一般道は急な坂、雪、凍結がそろるとトラックには厳しい道路となり危険で、迂回できるルートが必要です。
物流課題意見【12件】	<ul style="list-style-type: none"> 大型トラックの需要が高く、渋滞も多い。昨今の物流を担うドライバーの労働環境の改善のためにも道路は必要です。 大型車両の通行量も多いので、大型車両の利便性向上のために必要だと思う。 該当地域の東西方向の移動は一般道を含め多数選択肢がありますが、南北方向の移動は経路がある程度絞られることと、直線的に結ぶ自動車専用道路が存在しないことから、通常時の物流経路や災害時の緊急搬入搬出経路の確保が課題と思います。
安全課題意見【20件】	<ul style="list-style-type: none"> 一般道を大きなトラックが多く通っており、ベビーカーの親子や高齢者の歩行は危険と感じる時がありました。 一般道の抜け道に大型トラックが多数入り込んでいますので、危険と思います。 一般道では歩行者、自転車との接触の危険が多いと感じます。
観光課題意見【3件】	<ul style="list-style-type: none"> 三重県から北陸地方にアクセスするには三重県北勢地域や国道1号から狭い道路を利用するしかなく、観光面での道路が不十分。 三重県南勢・中勢地域から滋賀県北部、福井県方面に移動する際に、新名神高速道路や名神高速道路を使うと遠回りになり、観光活性化の阻害となっていると思います。

1-2. 調査票による意見聴取結果(クロス集計:課題(迂回)×居住地)

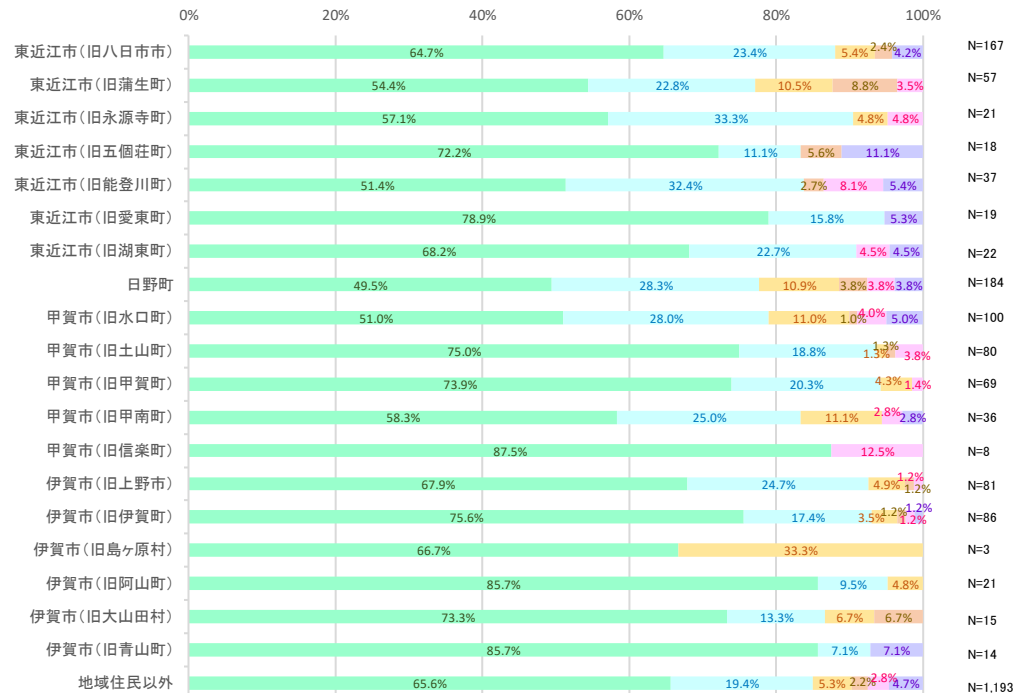
- 居住地別では、伊賀市在住の方が、「迂回の課題」を実感している割合が最も大きい(9割超)。
- 自由意見では、地域の生活道路の役割も担っている名阪国道の通行止めに関する意見が寄せられた。

問2：名神名阪連絡道路周辺の課題について

【迂回】名神・新名神・名阪国道のいずれかが事故や災害で通行止めとなった場合、他の高速道路等への迂回が難しい



【参考:居住地(旧市町村別)】



課題に関する自由意見回答

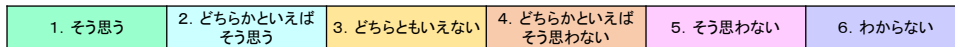
分類	主な自由意見	
迂回課題意見 【20件】	対象地域住民	<ul style="list-style-type: none"> • 名阪国道が通行止めになった際の下道の渋滞を考えると連絡道路は必要、早期に進めてほしい • 伊賀市民の重要な生活道路である名阪国道は、通行止等が多くある為、新名神や名神へのアクセスする新しい道路の必要性は強く考えておりますので、早期の事業着手を願います。
	対象地域住民以外	<ul style="list-style-type: none"> • 名阪上柘植付近は急な坂、雪、凍結がそろるとトラックには厳しい道路となり危険です。高規格な道路で、その部分を迂回できるといいと思います。

1-2. 調査票による意見聴取結果（クロス集計：課題（迂回）×利用頻度、課題（迂回）×利用目的）10

- 利用頻度別では、月1回以上利用する方は、「迂回の課題」を実感している傾向がある。
- 利用目的別でも、「通勤・通学」、「仕事（営業・運送等）」など日常的に利用する方が「迂回の課題」を実感している傾向がある。

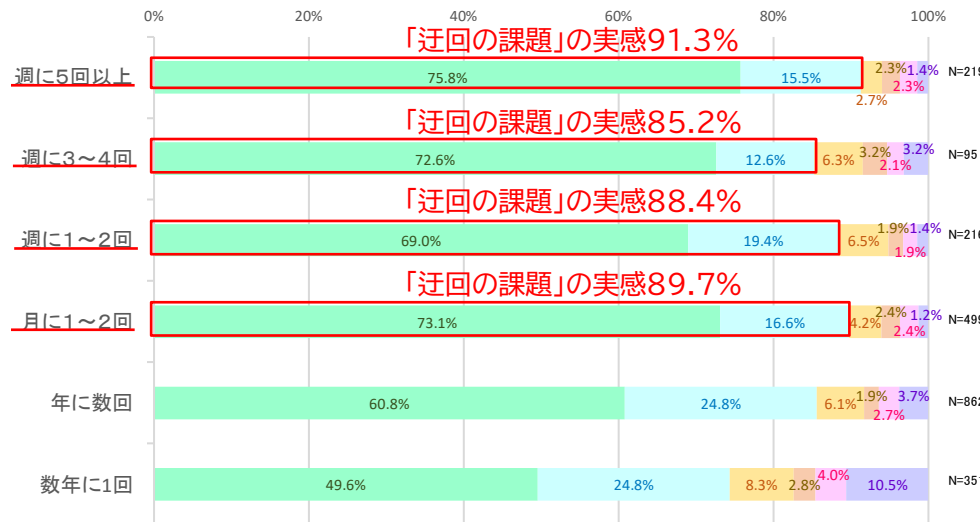
問2：名神名阪連絡道路周辺の課題について

【迂回】名神・新名神・名阪国道のいずれかが事故や災害で通行止めとなった場合、他の高速道路等への迂回が難しい



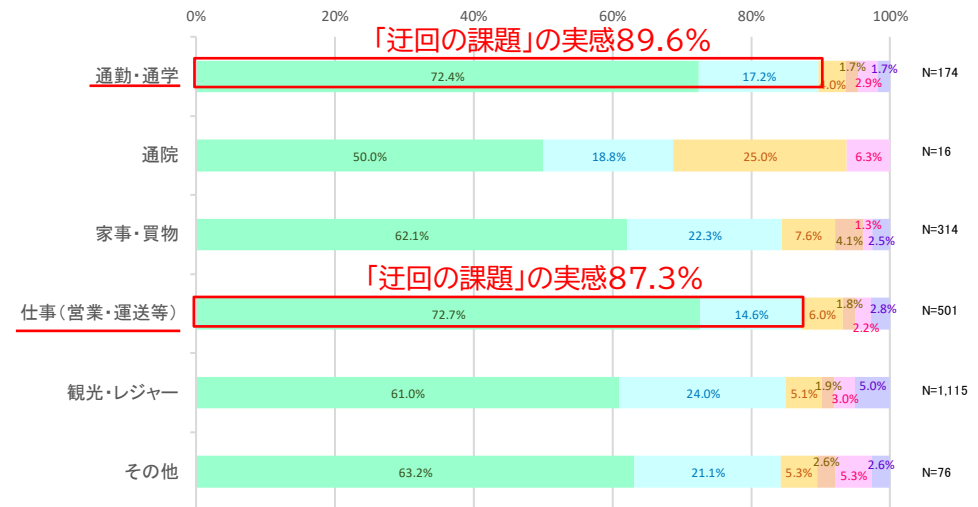
【利用頻度別】

「日常的な道路利用者が、特に迂回の課題を実感



【利用目的別】

「通勤・通学」「仕事（営業・運送等）」での利用者が特に迂回の課題を実感



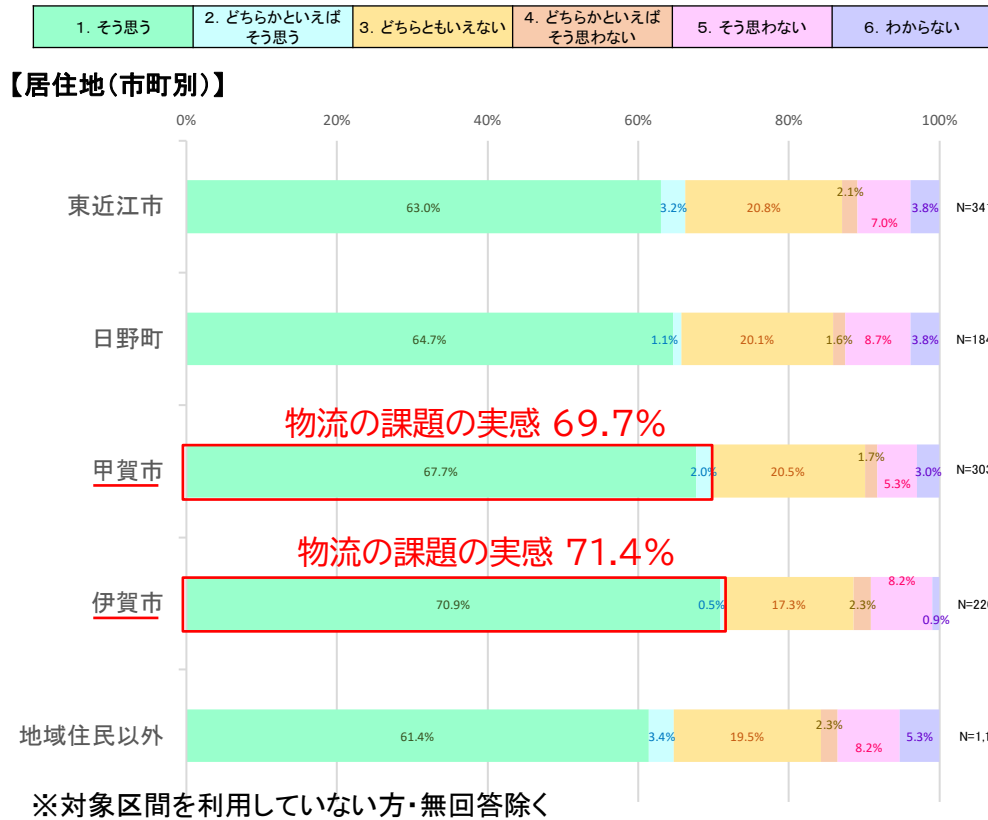
※対象区間を利用していない方・無回答除く

1-2. 調査票による意見聴取結果（クロス集計：課題（物流）×居住地）

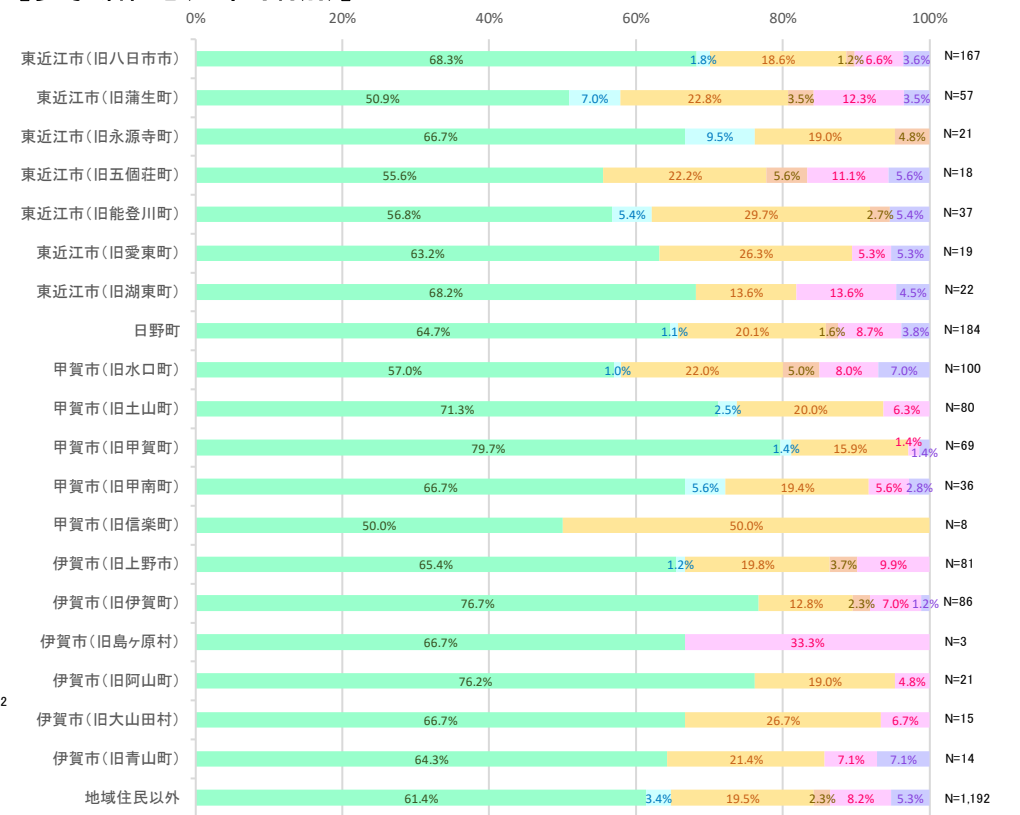
- 居住地別では、甲賀市・伊賀市在住の方が、「物流の課題」を実感している傾向がある。
- 自由意見では、対象地域に物流車両の走行に適した幹線道路がないことに関する意見が寄せられた。

問2：名神名阪連絡道路周辺の課題について

【物流】物流を担う大型車が多く走行しているが、一般道しかない



【参考：居住地(旧市町村別)】



課題に関する自由意見回答【対象地域住民】

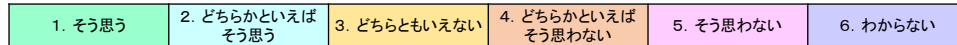
分類	主な自由意見
物流課題意見【5件】	<ul style="list-style-type: none"> • 物流の利便性向上を図る上で、滋賀県と三重県の名阪国道のアクセスが悪いです。 • 当該地域に物流道路としての基幹道路が存在していない。 • 災害時等の通行止で物流が止まったので改善する必要があると思います。

1-2.調査票による意見聴取結果（クロス集計：課題（物流）×利用頻度、課題（物流）×利用目的） 12

・月1回以上利用する方は、「物流の課題」を実感している傾向がある。

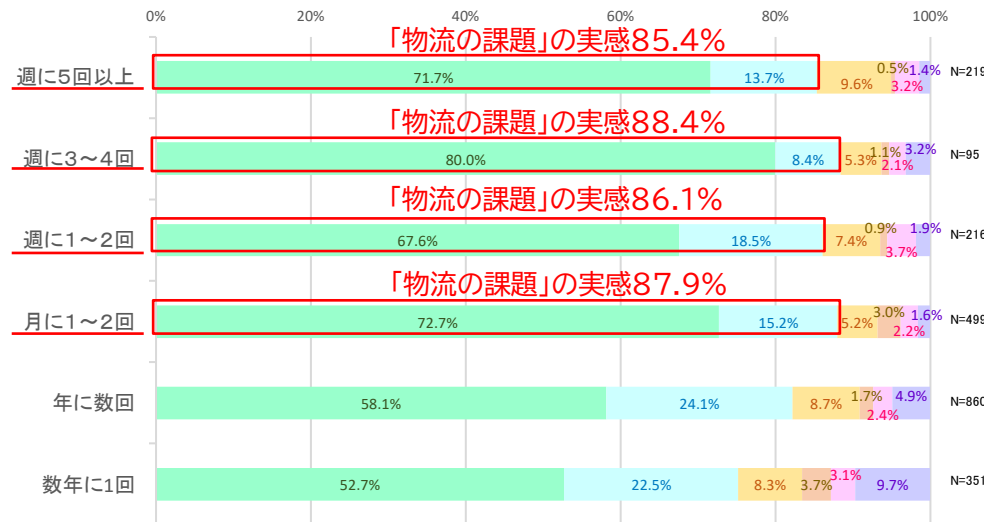
問2：名神名阪連絡道路周辺の課題について

【物流】物流を担う大型車が多く走行しているが、一般道しかない

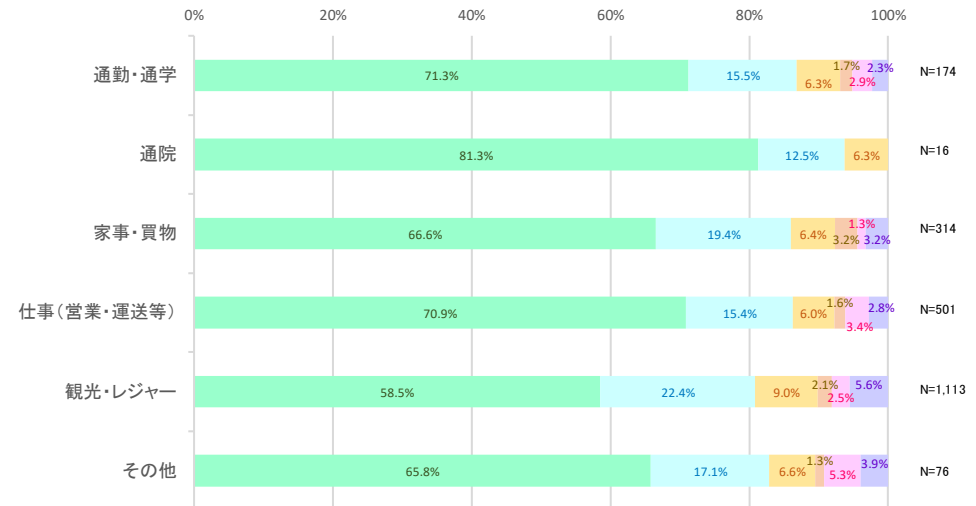


【利用頻度別】

週に5回以上の日常的な道路利用者が、特に物流の課題を実感



【利用目的別】



※対象区間を利用していない方・無回答除く

1-2. 調査票による意見聴取結果(クロス集計:課題(安全)×居住地)

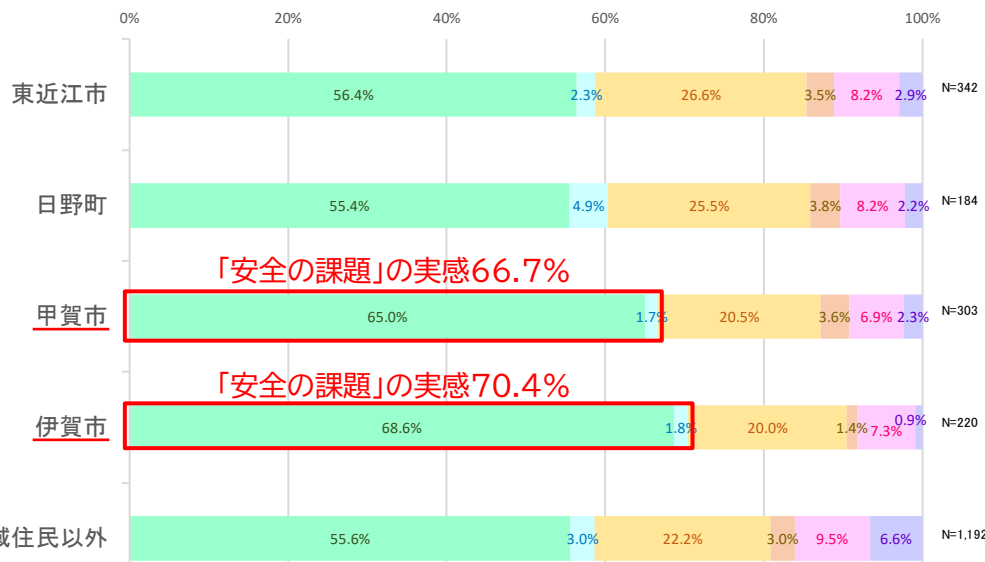
- ・居住地別では伊賀市、甲賀市に在住の方が「安全の課題」を実感している傾向がある。
- ・自由意見では、県道草津伊賀線の一部は通学路に指定されているが、大型車の通行が多いことに課題を感じている意見が寄せられた。

問2：名神名阪連絡道路周辺の課題について

【安全】生活道路に大型車が入り込んで走行しており、危険を感じる



【居住地(市町別)】



【参考:居住地(旧市町村別)】



※対象区間を利用していない方・無回答除く

課題に関する自由意見回答【対象地域住民】

分類	主な自由意見
安全課題意見 【52件】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名阪国道上柘植ICから余野公園までの区間は住宅、子どもの通学など生活道路であり、また道路状況も起伏高低差も大きく、道路幅の狭い所もある為危険。周辺の生活をおびやかす道路なので専用道路を早く作ってほしい。(旧伊賀町居住者) ・ 生活の安全面を考えると、土山～上柘植間の方が重要に感じる。(旧甲賀町居住者) ・ 県道4号線の車両が多く、道路の横断や車で4号線への侵入に日常的に困っています。大型車両が連絡道路にいけば安全という面で、大いに期待をしています。(旧伊賀町居住者)

1-2. 調査票による意見聴取結果(期待:総数)

- 回答者の大半が名神名阪連絡道路の実現に期待している。
- 「迂回への期待」、「物流への期待」、「安全への期待」を持っている方が特に多い(9割超)。

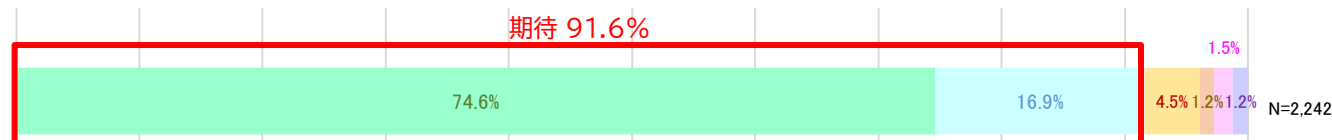
問3：名神名阪連絡道路への期待について

【全体】



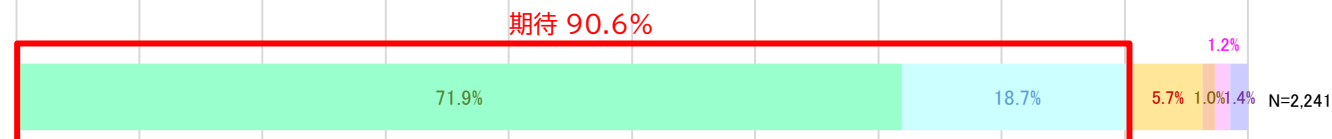
迂回への期待

〔A〕 事故や災害等が発生した時に迂回できる道路網を形成すること



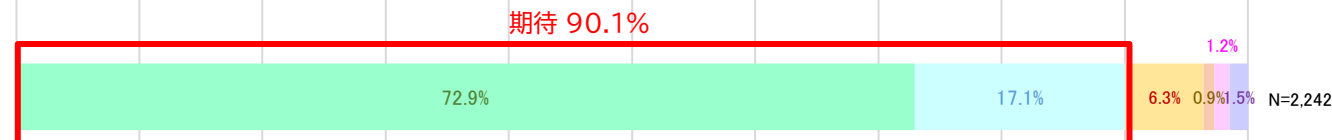
物流への期待

〔B〕 安定的な物流を支援することで産業振興を図ること



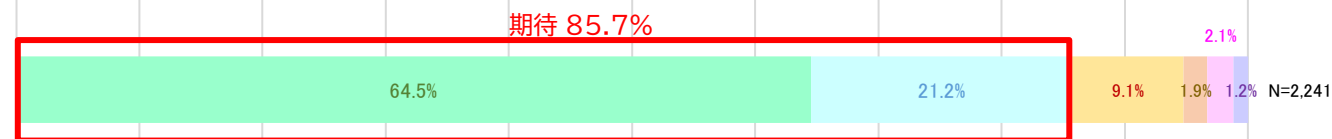
安全への期待

〔C〕 生活交通と物流交通を分離することで交通安全の向上を図ること



観光への期待

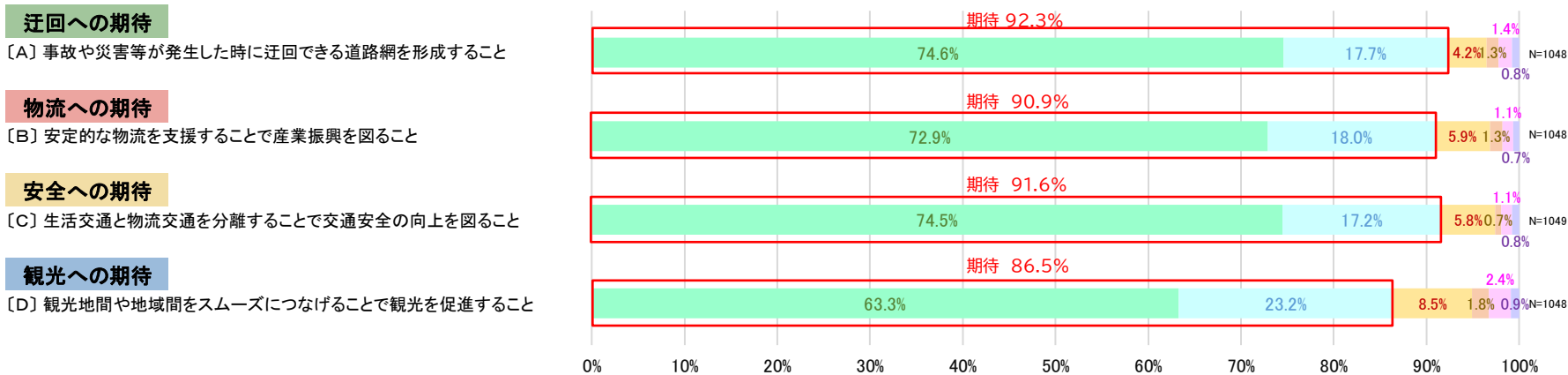
〔D〕 観光地間や地域間をスムーズにつなげることで観光を促進すること



※対象区間を利用していない方・無回答除く

- 「迂回への期待」、「物流への期待」、「安全への期待」を持っている方が特に多い(9割超)。
- 自由意見では、災害に強いまちや産業活性化、一般道の交通安全など、幅広い観点での期待が寄せられている。

問3：名神名阪連絡道路への期待について



期待に関する自由意見回答【対象地域住民】

※対象区間を利用していない方・無回答除く

対象地域住民
意見聴取

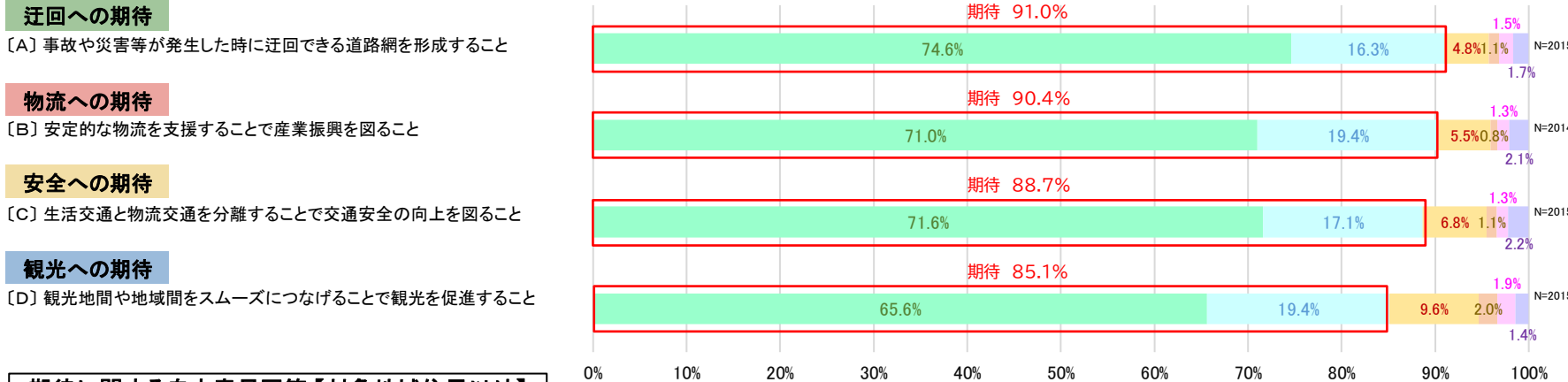
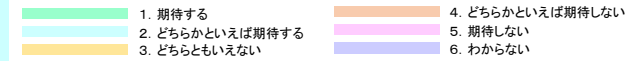
東近江市
日野町
甲賀市
伊賀市
在住者

分類	主な自由意見
迂回期待意見 【40件】	<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害等有事の際、物流輸送ルートを複数確保することで、防災能力の向上に大変効果があると思います。 災害時での迂回ルートが確保でき、災害に強いまちづくりが可能になると思い期待しています。
物流期待意見 【42件】	<ul style="list-style-type: none"> 産業、流通のスムーズ化、利便性向上による企業誘致促進や産業活性化など、多大なメリットが考えられ期待しています。 日野工業団地への直通路が整備される事により企業進出誘致が期待出来、雇用促進、率いては町の活性化に繋がると思います。 名神名阪連絡道路が出来ると物流や産業、人的交流が促進されると思い、期待しています。
安全期待意見 【41件】	<ul style="list-style-type: none"> 大型車両が名神名阪連絡道路に分離されれば、一般道の安全性が向上するという面で大いに期待をしています。 一般道に少しでも大型車が減ることは良いことだと思うので、一日でも早く工事を始めてほしいです。 安全や騒音はもとより、健康への不安の解消につながることを期待する。
観光期待意見 【16件】	<ul style="list-style-type: none"> 観光施設やゴルフ場も沿線地域には多数あり、それらへのアクセスの改善により地域経済の活性化につながると思います。 三重県と滋賀県の距離が近くなり、観光が促進されると思います。 北陸圏域からの往来も時間短縮になると思われるため、滋賀県・三重県・北陸圏域双方の観光客の誘致につながると思います。

1-2. 調査票による意見聴取結果(期待:対象地域住民以外)

- 「迂回への期待」、「物流への期待」、「安全への期待」を持っている方が特に多い。
- 自由意見では、地域住民と同様に地域経済の発展や一般道の交通安全につながると期待する意見が寄せられている。

問3：名神名阪連絡道路への期待について



期待に関する自由意見回答【対象地域住民以外】

※対象区間を利用していない方・無回答除く

対象地域
住民以外
意見聴取

分類	主な自由意見
迂回期待意見 【32件】	<ul style="list-style-type: none"> 事故はもちろん、災害が発生した時に道路網の充実は必須と考えます。 冬季の降雪や高速道路の事故や渋滞などで新名神から名阪国道へ迂回する必要があるときに便利になるので期待しています。 豪雪や南海トラフなどの災害の際には、高速道路に車が集中します。名神高速道路と新名神高速道路、そして名阪国道を繋ぐ当該道路は、重要な迂回路となり、期待しています。
物流期待意見 【25件】	<ul style="list-style-type: none"> 地域経済の発展や地域振興のために、必ず実現して欲しい。 大型車両の通行量も多く道路整備されれば利便性が高まると思われます。 物流網の構築に伴い地域経済のさらなる発展に期待します。
安全期待意見 【18件】	<ul style="list-style-type: none"> 物流車両と地元車両の分離による安全確保などメリットは大きいと思うので、ぜひ早期完成を目指して推進していただきたい。 名阪国道や新名神高速道路から国道1号へ向かう一般道の大型車が減ることを期待します。
観光期待意見 【15件】	<ul style="list-style-type: none"> 伊賀地域には観光名所がたくさんあるので、名神名阪連絡道ができれば地域が活性化すると思います。 速く走れる道路が出来たら滋賀県と三重県に両方行くような旅行計画を立てられるようになると思います。 新しい道路ができればとても安全で速達性も向上し、和歌山県から三重県を經由し、滋賀県に遊びに行くことが増えると思います。

1-3. 関係団体への意見聴取結果(課題・期待)

- 関係団体の大半が、名神名阪連絡道路周辺の4つの課題いずれについても実感している。特に、「迂回の課題」、「物流の課題」、「安全の課題」を実感している関係団体が多い(8割超)。
- 関係団体の大半が、名神名阪連絡道路の実現に期待している。特に、「迂回への期待」、「物流への期待」、「安全への期待」を持っている関係団体が多い(9割超)。

問1：名神名阪連絡道路周辺の課題について



迂回の課題

[A] 名神・新名神・名阪国道のいずれかが事故や災害等で通行止めとなった場合、他の高速道路等へ迂回が難しい

物流の課題

[B] 物流を担う大型車が多く走行しているが、一般道しかない

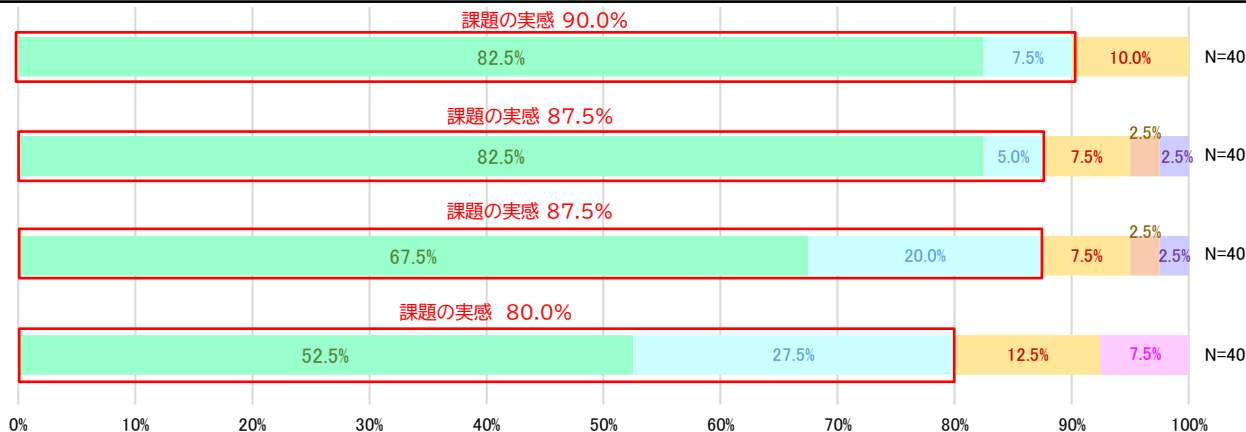
安全の課題

[C] 生活道路に多数の大型車が入り込んで走行しており、危険を感じる

観光の課題

[D] 主要観光地間をスムーズにつなぐ道路がないため、移動に時間がかかっている

【全体】



問3：名神名阪連絡道路への期待について

迂回への期待

[A] 事故や災害等が発生した時に迂回できる道路網を形成すること

物流への期待

[B] 安定的な物流を支援することで産業振興を図ること

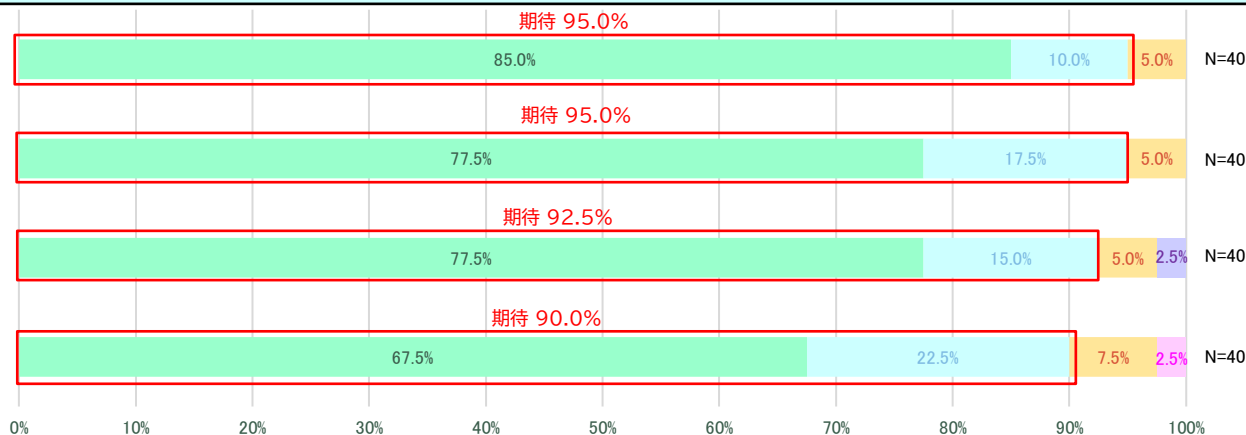
安全への期待

[C] 生活交通と物流交通を分離することで交通安全の向上を図ること

観光への期待

[D] 観光地間や地域間をスムーズにつなげることで観光を促進すること

【全体】



1-3. 関係団体への意見聴取結果(自由意見)

- ・関係団体の自由意見では「整備時期」に関するものが多く、早期開通を求める声が多かった。
- ・次いで、「安全」に関する意見が多かった。

自由意見

分類	関係団体への意見聴取における主な自由意見
迂回に関する意見 【2件】	<ul style="list-style-type: none"> ・大雪など災害時に交通渋滞などの障害に対応できるように、連絡道路は必要と考えます。(三重県の運送団体) ・リダンダンシーの確保と合わせて国土強靱化の施策も叶うものであることから、早期に完成させて頂きたい。(三重県の運送団体)
物流に関する意見 【2件】	<ul style="list-style-type: none"> ・物流・人流・観光振興の面からも費用対効果は絶大。(三重県の運送団体) ・幹線道路ネットワークが拡充されることで、地方部における広域的な医療サービスの享受、工場誘致等による経済活性化についても望める。(滋賀県の警察機関)
安全に関する意見 【3件】	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道未整備の道路が大半であり、歩行者や自転車の利用が多い生活道路であることから、大型車両を中心とした通過交通の分離を図って安全を確保するために「名神名阪連絡道路」の早期整備が切望されます。(滋賀県の警察機関) ・名神名阪連絡道ができることによって安定的な物流及び交通安全の向上を図れることから早急に建設着手していただくことを望みます。(三重県の商工会) ・道路整備が行われることにより、より一層の地域活性化を安全な道路確保につながることを期待します。(滋賀県の消防機関)
観光に関する意見 【1件】	<ul style="list-style-type: none"> ・現状として、名張市から名神へ向かうルートを観光案内するときどのルートを推奨するのがよいか自体が不明確であるのが実情です。観光協会役員の間では、国道・県道の整備状況について県内自治体間で格差が大きすぎることが不公平であるとの意見が大勢です。今回の道路整備が、名張市からの利便性が明確に向上することを前提に回答しています。(三重県の観光協会)
道路整備(新規)に関する意見 【2件】	<ul style="list-style-type: none"> ・雪寒時においては。国道307号上における大型車のスタックが多数発生し、交通の安全、円滑に大きな影響を及ぼしたことから、雪寒時においても安定的に対象区間を通行できる連絡道路の構築を期待します。(滋賀県の警察機関) ・事故や災害発生、生活道路の安全性、地域間の利便性を考えると、連絡道路は必要である。(滋賀県の消防機関)
道路整備(既存)に関する意見【1件】	<ul style="list-style-type: none"> ・名神名阪連絡道路に接続する周辺道路の整備も合わせて推進願います。(滋賀県の警察機関)
整備時期に関する意見【4件】	<ul style="list-style-type: none"> ・有料道路でも良いので早期に開通させて欲しい。(滋賀県の商工会) ・ルートにこだわらず早期に手続きを進めていただき、なるべく早い交通開始を望みます。(滋賀県の農林団体) ・名神名阪連絡道路が早期に整備されることを大いに期待しております。(滋賀県の商工会) ・防災、物流、交通安全、観光など、多方面に必要性の高い道路であり、早期着手早期完成を期待します。(三重県の商工会)
その他【1件】	<ul style="list-style-type: none"> ・インター周辺地域の都市計画区域の見直しも県にお願いしたい。(滋賀県の農林団体)

- 対象地域の住民以外は、**迂回**、**物流**の課題を実感。
- 対象地域の住民では、**迂回**、**物流**の課題に加え、**安全**の課題も実感。
- 特に、甲賀市、伊賀市域で、**迂回**、**物流**、**安全**の課題を実感している住民が多い。
- また、自由意見には、早期に整備してほしいとの意見が寄せられた。

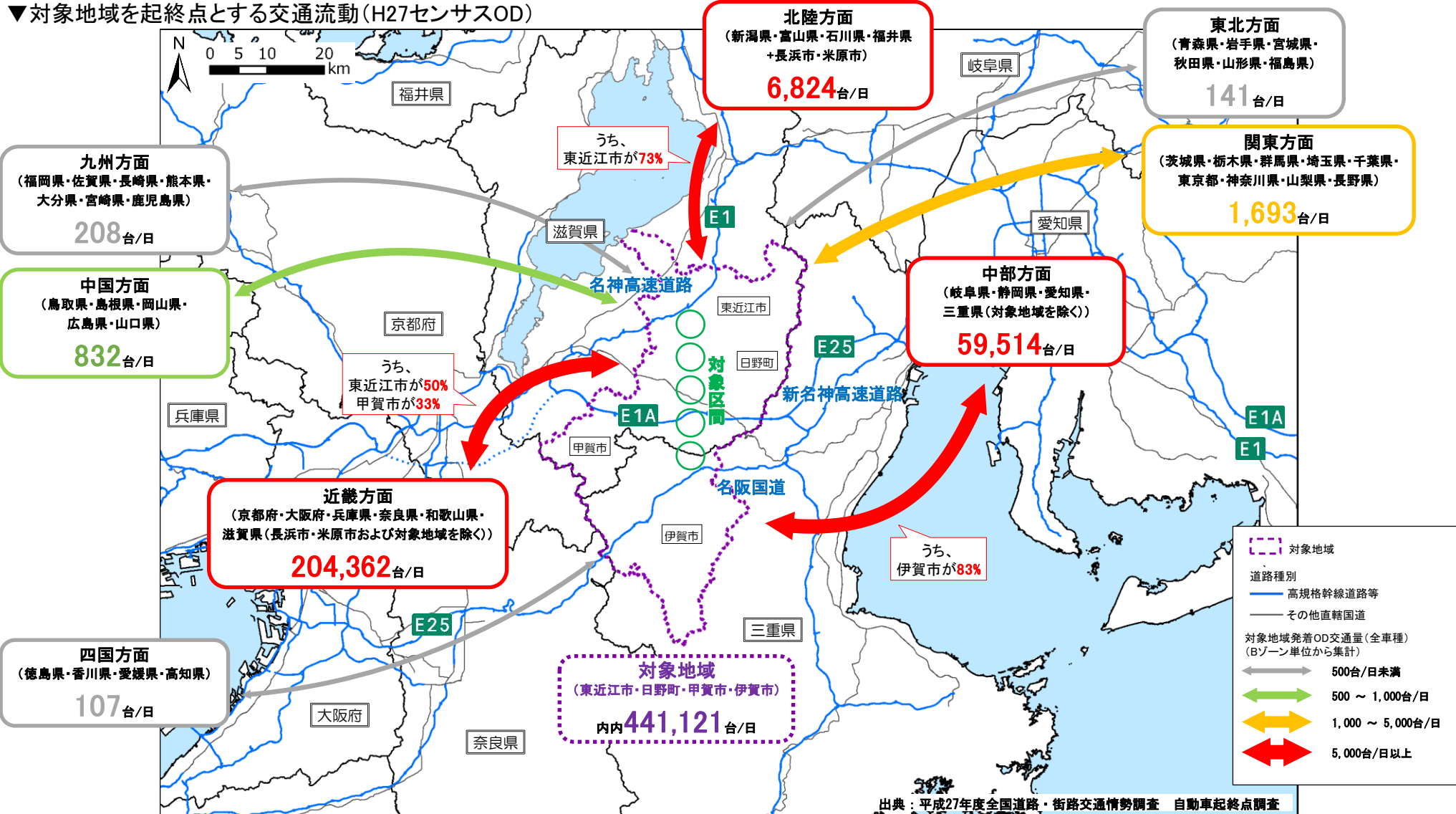
2. 早期の効果発現に向けた提案

- 第1回意見聴取の結果から、対象区間周辺の課題認識には、地域ごとに差異があることを把握できた。また、早期に整備してほしいとの意見が寄せられた。
- 対象区間は約30kmにおよぶことから、早期の効果発現のため、「優先区間」を設定し、計画の具体化を進めることが有効。
- 地域特性、道路交通状況の課題などを把握したうえで、特に課題が大きく緊急性が高い区間を、「優先区間」とすることを提案。

2-1. 地域特性（広域流動）

- ・対象地域を起終点とする交通量は、近畿方面が最も多く、中部方面、次いで北陸方面が多い。
- ・対象地域は、近畿圏、中部圏、北陸圏とつながりが強い地域である。

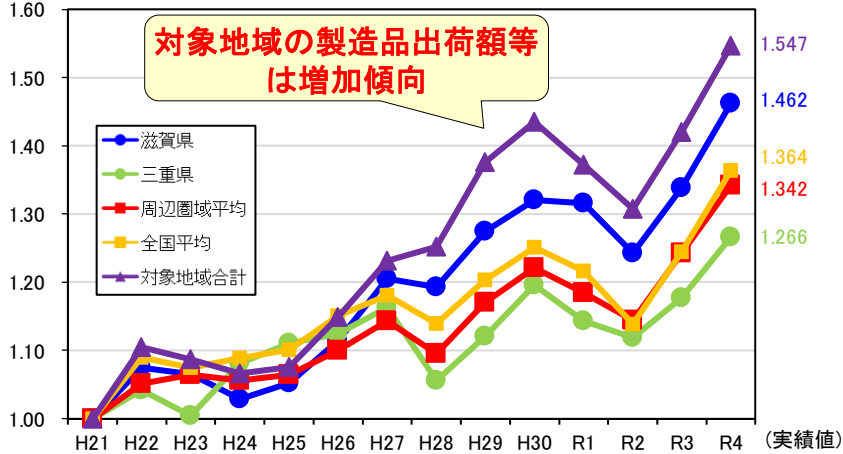
▼対象地域を起終点とする交通流動（H27センサスOD）



2-1. 地域特性（産業動向）

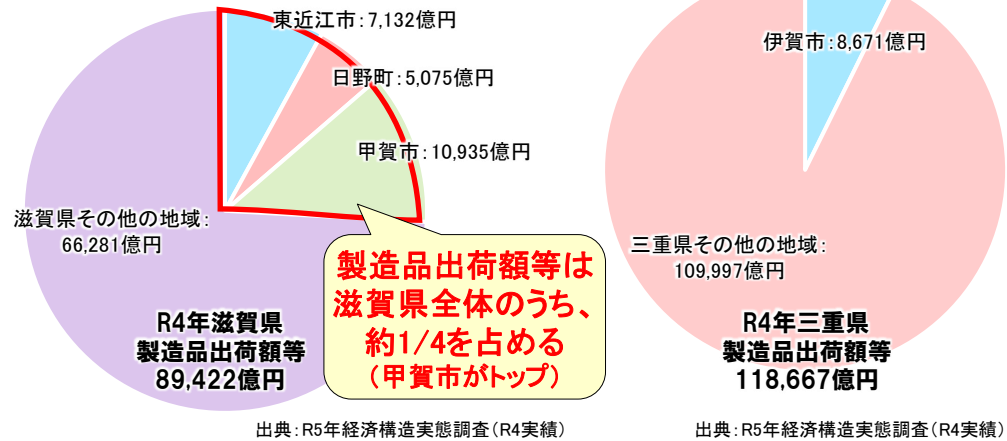
- ・滋賀県・三重県の製造品出荷額等は、近年増加傾向。対象地域も同様に増加傾向。
- ・対象地域の総生産における第2次産業の割合は非常に高く、全国値の2.4倍。地域の重要な産業となっている。
- ・滋賀県内における対象地域の製造品出荷額等は、県内の約1/4を占める。なかでも甲賀市の製造品出荷額等は、県内トップ。
- ・対象地域の製造品出荷額等は、全国でも上位の水準にあり、四日市市に匹敵する。

▼製造品出荷額等の伸び率（H21を1.0とした場合）



※周辺圏域：滋賀県、京都府、三重県、奈良県、大阪府、福井県
 出典：工業統計調査（H17～H22、H24～H26、H28～R2）
 経済センサス（H23、H27、R3）、経済構造実態調査（R4,R5）

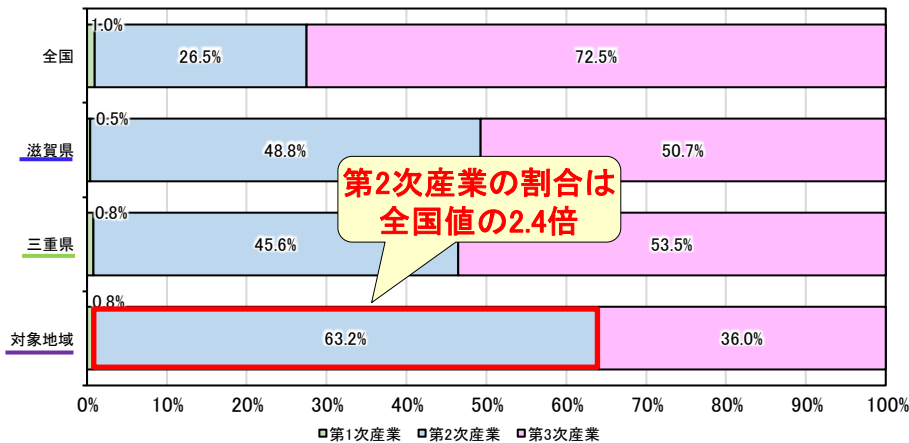
▼製造品出荷額等の割合



出典：R5年経済構造実態調査（R4実績）

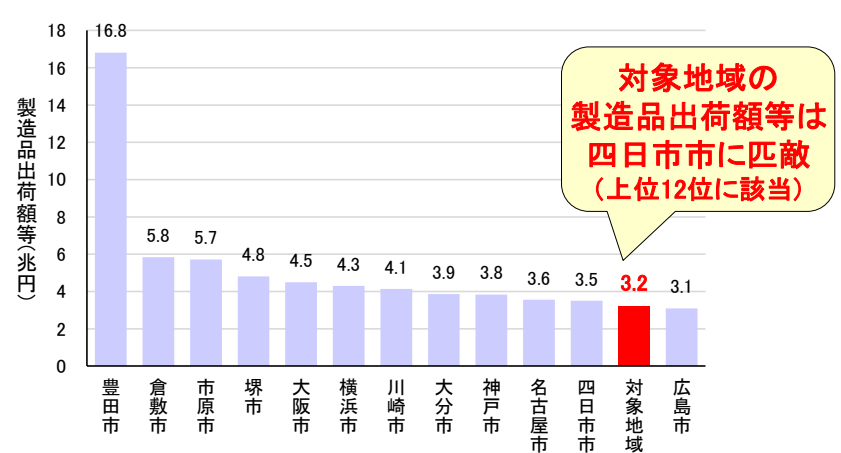
出典：R5年経済構造実態調査（R4実績）

▼総生産における第2次産業の割合



出典：R3年度国民経済計算（データは年）、R3年度滋賀県市民経済計算、R3年度滋賀県民経済計算
 R3年度三重県市民経済計算、R3年度三重県民経済計算

▼製造品出荷額等上位市町村

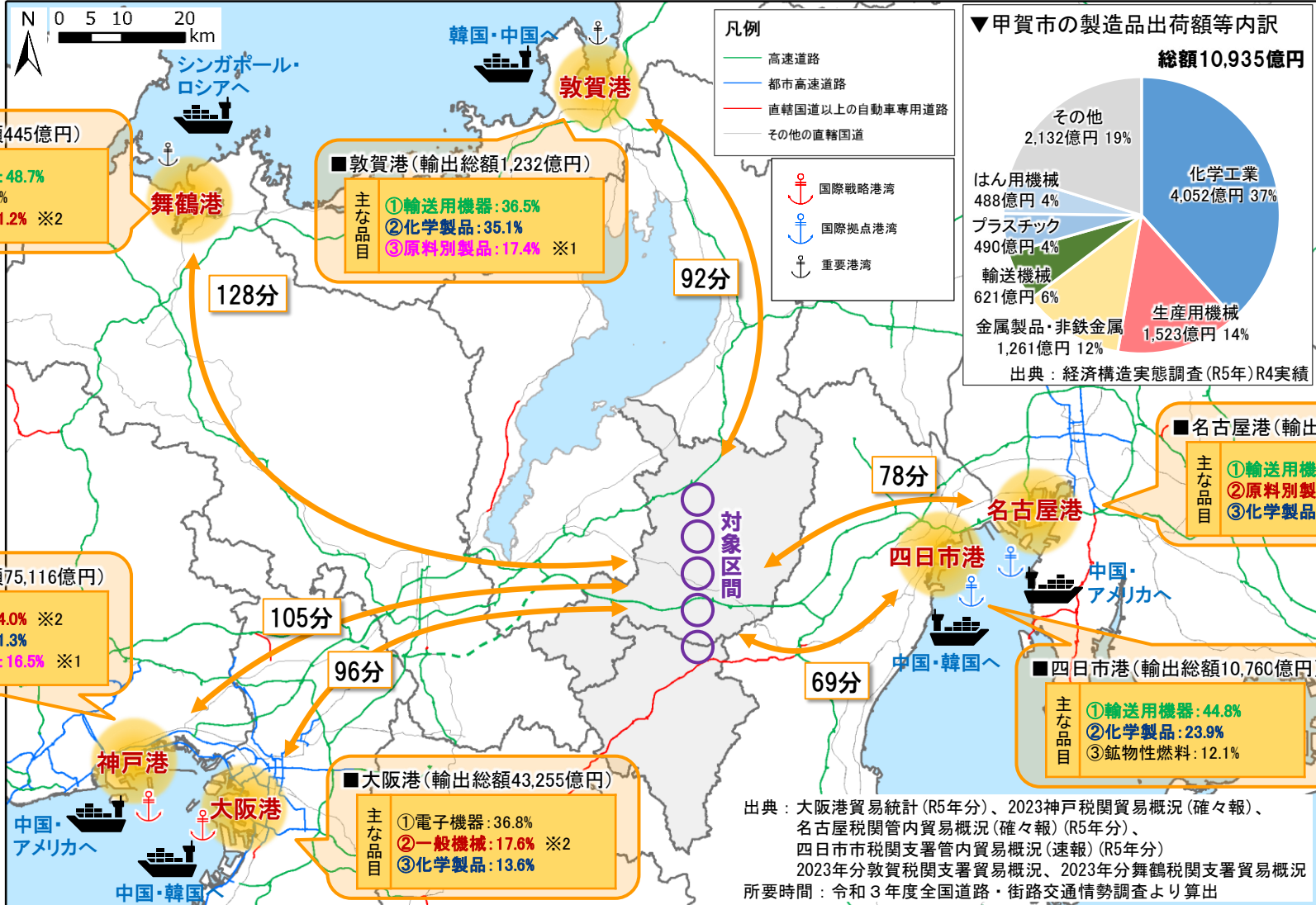


出典：R5年経済構造実態調査（R4実績）

2-1. 地域特性（港湾物流の状況）

- 対象地域は、近畿・中部・北陸の重要港湾等へのアクセスが可能な場所に位置している。
- 特に、甲賀市は滋賀県内一の製造品出荷額等を誇るなど、対象地域では今後も輸出産業の発展が期待できる。

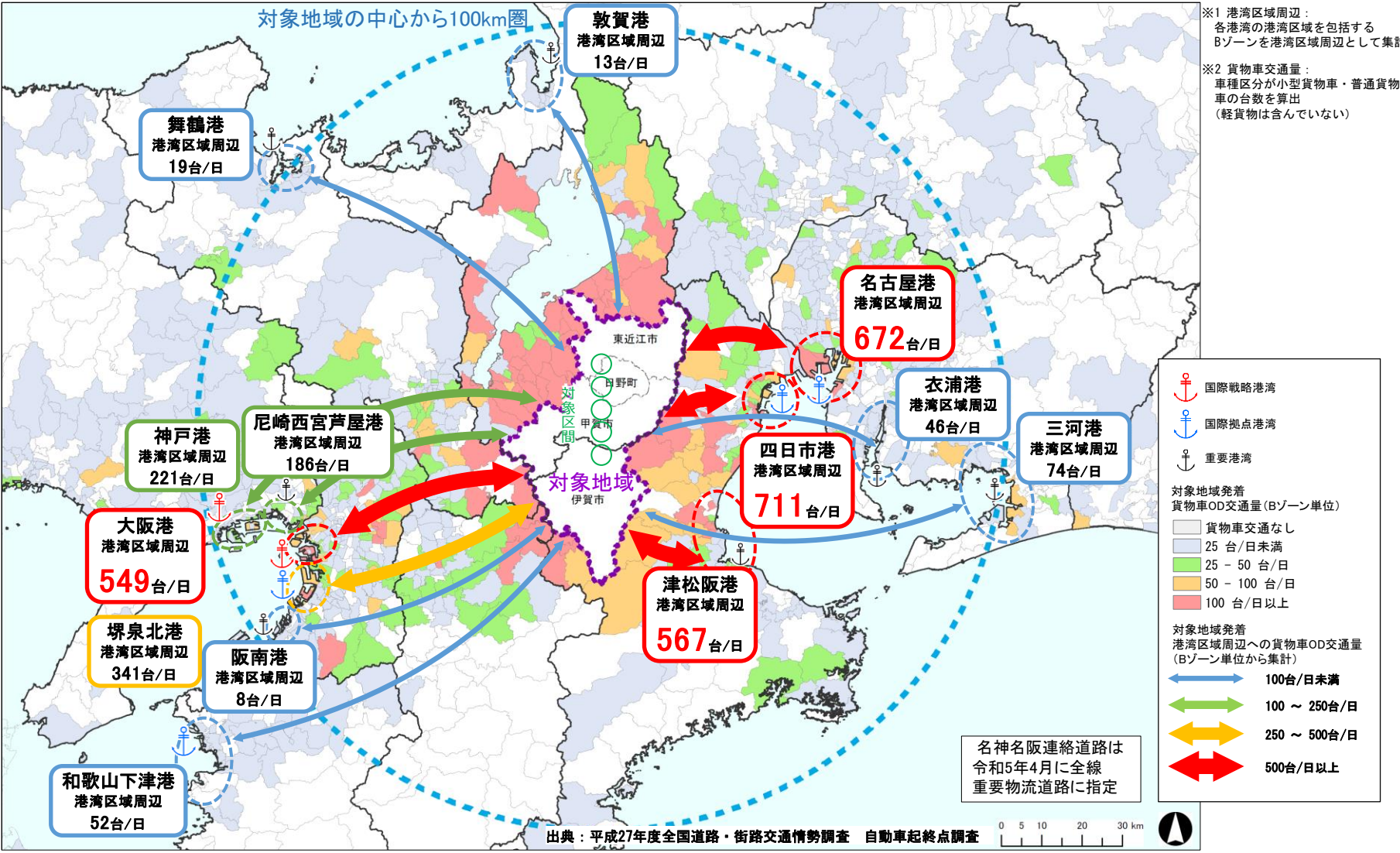
▼対象地域周辺の国際戦略港湾・国際拠点港湾・重要港湾



2-1. 地域特性（物流）

- 対象地域を起終点とする貨物車OD交通量は、周辺地域以外では、対象地域の中心から100km圏内にある国際戦略港湾、国際拠点港湾、重要港湾周辺との行き来が多い。
- 港湾区域周辺の貨物車OD交通量の合計では、四日市港が最も多く、次いで名古屋港、津松阪港、大阪港の順で多い。

▼国際戦略港湾・国際拠点港湾・重要港湾区域周辺※1への貨物車※2センサスOD交通量



2-2. 対象地域の道路交通状況（日交通量）

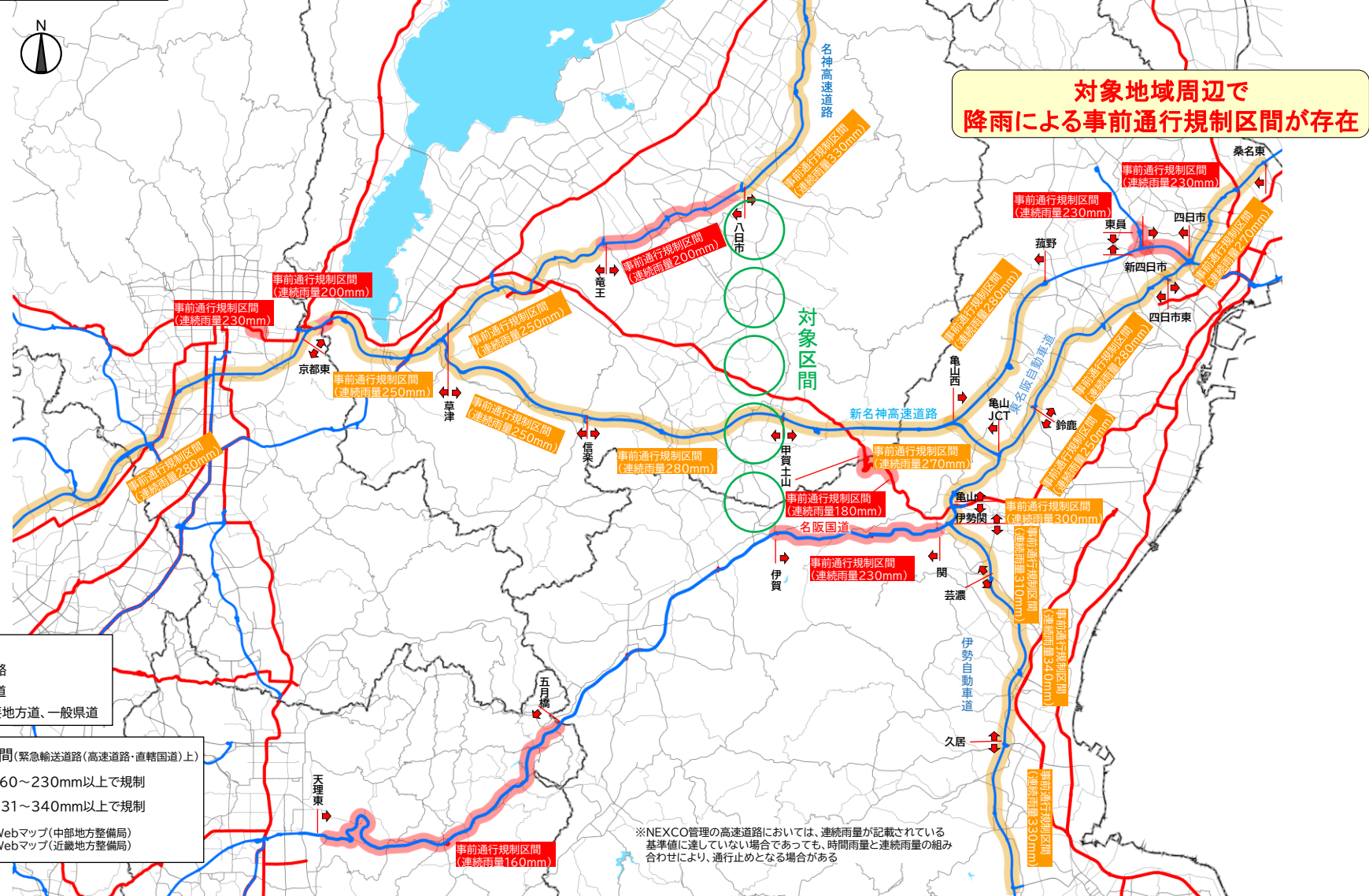
- ・八日市IC～上柘植IC間の主たる走行経路は、国道307号～県道日野徳原線～広域農道～県道草津伊賀線となっている。
- ・甲賀・伊賀市域では、南北方向の幹線道路が無く、県道や広域農道を通行している。

▼対象地域における道路網と交通状況(日交通量:全車種)



対象地域周辺の高規格道路には事前通行規制区間が存在し、なかでも国道1号（鈴鹿峠）では連続雨量180mm以上、名阪国道（関IC～伊賀IC間）では連続雨量230mm以上で通行止めとなるなど、降雨時における迂回機能の不足が課題。

事前通行規制



対象地域周辺で
降雨による事前通行規制区間が存在

路線種別

- 高規格幹線道路
- その他直轄国道
- 補助国道、主要地方道、一般県道

◆事前通行規制区間（緊急輸送道路（高速道路・直轄国道）上）

- 連続雨量160～230mm以上で規制
- 連続雨量231～340mm以上で規制

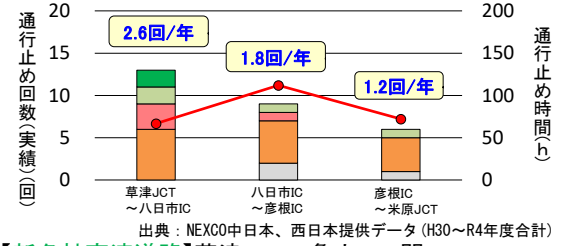
出典 道路防災情報Webマップ（中部地方整備局）
道路防災情報Webマップ（近畿地方整備局）

※NEXCO管理の高速道路においては、連続雨量が記載されている基準値に達していない場合であっても、時間雨量と連続雨量の組み合わせにより、通行止めとなる場合がある

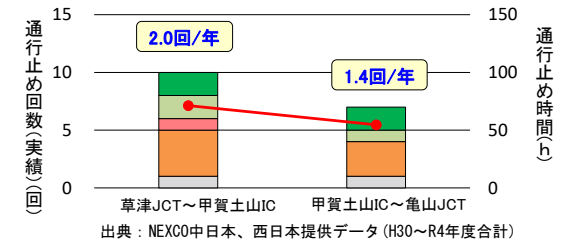
・名阪国道の通行止回数(実績)は名神高速道路、新名神高速道路よりも多く、迂回路の必要性が高い。

▼名神高速道路・新名神高速道路・名阪国道・国道1号鈴鹿峠の通行止め回数(実績)

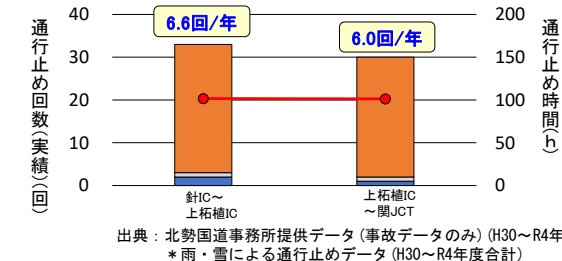
【名神高速道路】草津JCT～米原JCT間



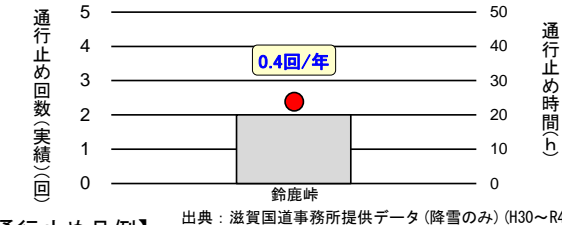
【新名神高速道路】草津JCT～亀山JCT間



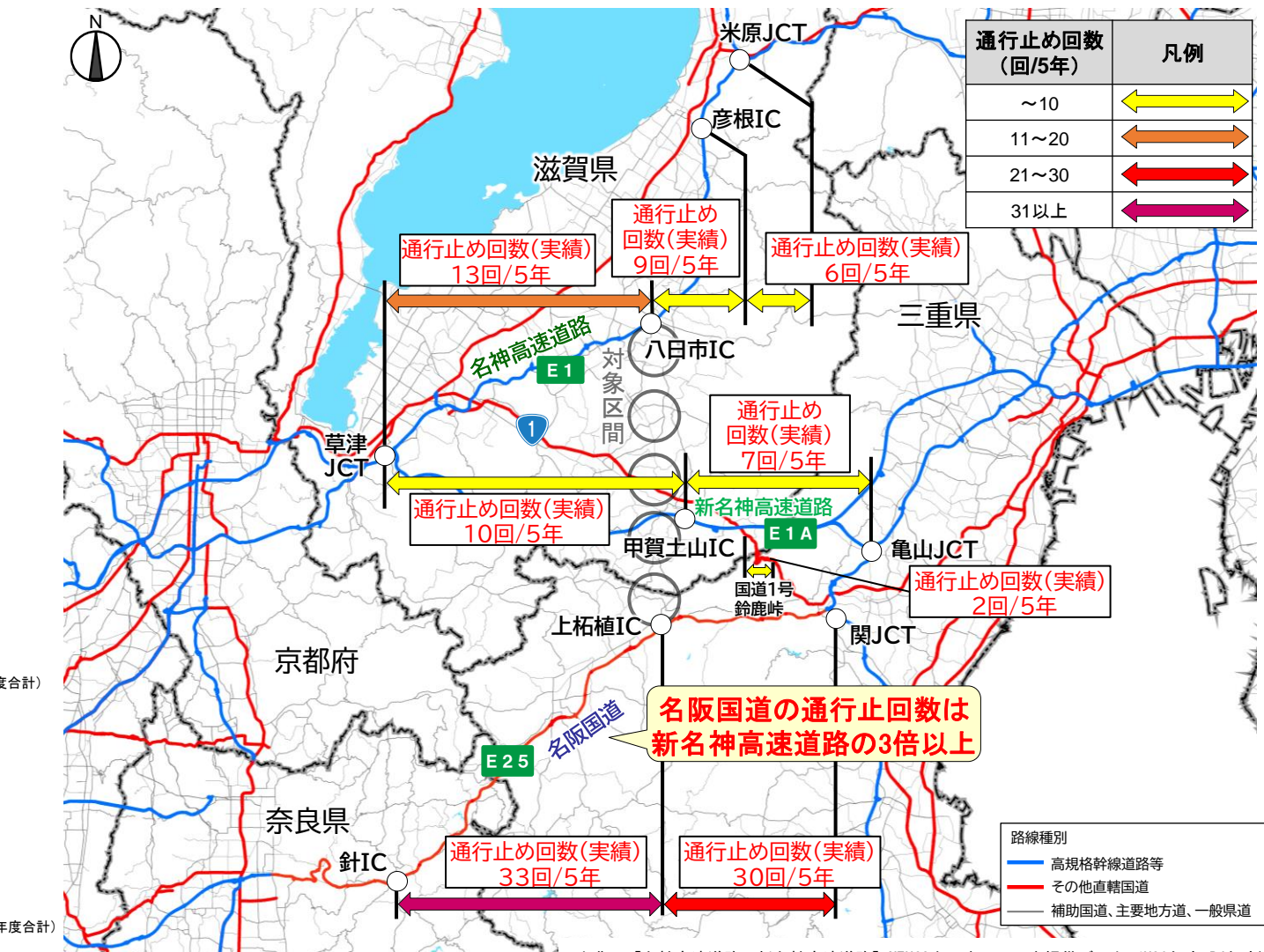
【名阪国道】針IC～関JCT間



【国道1号】鈴鹿峠



【通行止め凡例】



名阪国道の通行止回数は新名神高速道路の3倍以上

出典：【名神高速道路・新名神高速道路】NEXCO中日本・西日本提供データ（H30年度～R4年度）
 【名阪国道】北勢国道事務所提供データ（H30年度～R4年度）
 【国道1号】滋賀国道事務所提供データ（H30年度～R4年度）

※工事による通行止を除く

第1回有識者委員会以降での広域道路ネットワーク （高規格道路）を取り巻く事象・変化

日付	事象・変化等
R5.7.28	「第三次国土形成計画（全国計画）」閣議決定
R5.10.31	社会資本整備審議会 国土幹線道路部会 「高規格道路ネットワークのあり方中間とりまとめ」
〃	国土交通省道路局 「WISENET（ワイズネット）2050・政策集」
R6.1.1	能登半島地震
R6.6.28	令和6年能登半島地震を踏まえた緊急提言

2-3. 高規格道路を取り巻く社会情勢（最近の状況）

- ・名神名阪連絡道路は、第三次国土形成計画(全国計画)における日本海国土軸・太平洋国土軸の二面活用に資する道路。
- ・また、高規格道路要件のうち「広域交流」「ネットワーク補完」に該当。

▼第三次国土形成計画

目指す国土の姿
「新時代に地域力をつなぐ国土」

国土全体にわたり地域力をつなぎ合わせ、未来へとつなげていく

地域力

地域課題を克服する**守りの力**

×

地域の魅力を高め人々を惹きつける**攻めの力**

地域力の結集し、目指す国土の形成を通じて

活力ある国土づくり
～地域への誇りと愛着に根差した地域価値の向上～

安全・安心な国土づくり
～災害等に屈しないしなやかで強い国土～

個性豊かな国土づくり
～森の国、海の国、文化の国～

地方への人の流れの創出・拡大

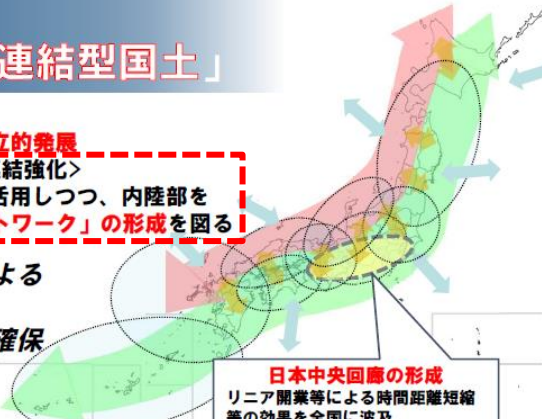
国土構造の基本構想
「シームレスな拠点連結型国土」

＜①人口や諸機能の広域的な分散＞
中核中核都市等を核とした**広域圏の自立的発展**

＜②二面活用、内陸部を含めた全国の連結強化＞
日本海側と太平洋側の二面を効果的に活用しつつ、内陸部を含めた連結を図る「**全国的な回廊ネットワーク**」の形成を図る

- ⇒活発なヒト・モノの流動によるイノベーションの促進
- ⇒災害時等のリダンダンシー確保

日本中央回廊の形成
リニア開業等による時間距離短縮等の効果を全国に波及

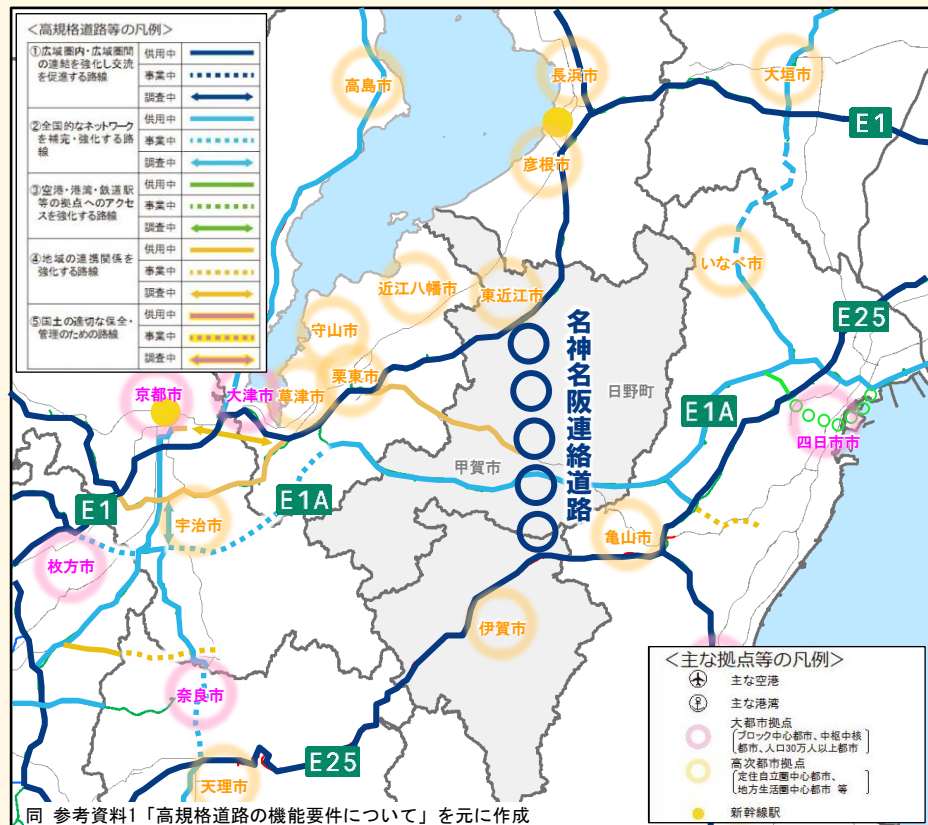


第三次国土形成計画（全国計画）（令和5年7月28日閣議決定）パンフレットから抜粋

▼高規格道路要件の適合状況（名神名阪連絡道路の位置づけ）

路線名	起点	終点	高規格道路の機能要件				
			広域交流	NW補完	拠点アクセス	地域連携	国土保全
名神名阪連絡道路	東近江市	伊賀市	◎	●			

資料：第61回国土幹線道路部会（令和5年12月11日）
参考資料1「高規格道路の機能要件について」から抜粋



2-3. 高規格道路を取り巻く社会情勢（最近の状況）



- ・名神名阪連絡道路は、シームレスネットワークの一部を形成。
- ・日本海側と太平洋側を結ぶことで経済成長・国際競争力強化につながる強靱な物流ネットワークの一翼を担う道路。

▼WISENET2050

2050年、世界一、賢く・安全で・持続可能な基礎ネットワークシステムの実現を目指す

ワイズネット
WISENET2050・政策集

経済成長と国土安全保障を実現するシームレスネットワークの構築

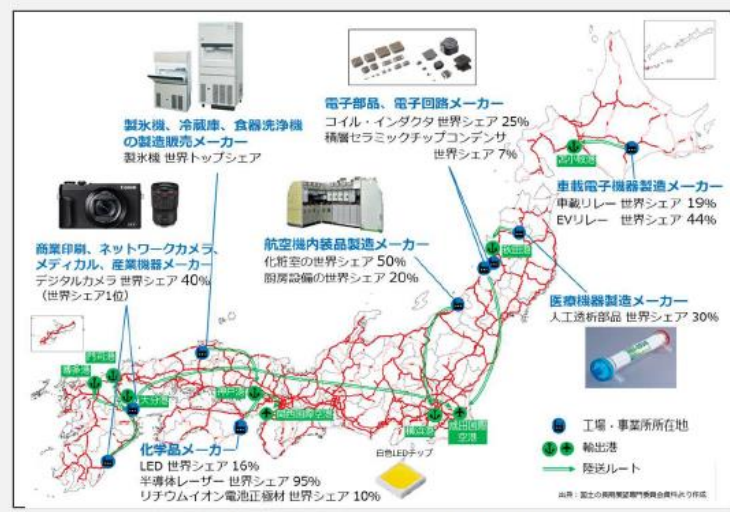
国土交通省道路局



経済成長・物流強化

国際競争力強化のため、三大都市圏環状道路、日本海側と太平洋側を結ぶ横断軸の強化など、強靱な物流ネットワークの構築を図ります。

全国に立地する世界シェア企業



世界シェア60%以上の製品群数
日本270 米国124 欧州47 中国73

農水産品の流れ(試算)



WISENET2050・政策集」から抜粋

3. 今後の進め方（予定）

3. 今後の進め方（予定）

令和4年11月16日

第1回委員会

- 対象地域の概況、道路交通課題
- 政策目標、意見聴取方法、PIの進め方の方針決定

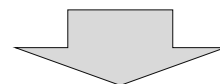


令和5年1月12日～2月19日

第1回地域の意見聴取

- ・沿線地域や企業等へのヒアリング、アンケート 等

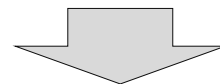
実施済み



令和6年11月20日

第2回委員会

- 第1回意見聴取の結果
- 早期の効果発現(優先区間設定)に向けた提案



次回以降委員会

- 地域・道路交通状況と課題、将来計画の整理
- 優先区間設定に向けた検討
- 意見聴取 等